

水から、ドラマチックに。

# 2023年3月期第2四半期 決算説明資料

2022年10月31日

SANEI 株式会社

証券コード:6230

(東京証券取引所 スタンダード市場)

# 1 2023年3月期 第2四半期 トピックス

売上高	<b>12,633</b> 百万円	14.2% 増収
売上総利益	<b>3,536</b> 百万円	1.3% 増益
営業利益	<b>103</b> 百万円	85.0% 減益

## 経済・業界の概況

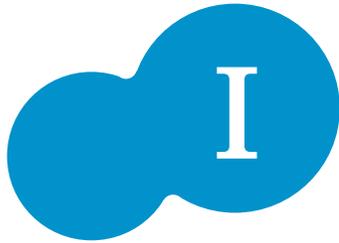
- ◆新設住宅着工戸数は、5月～7月が前年を下回るものの、底堅い状況が続いている。
- ◆急激な円安進行が止まらず、国内の材料価格（銅相場）は高止まりの状態が続いている。
- ◆あらゆるものが値上がりし、燃料費・電力費を始めとした物価上昇が続く。

## 決算の要点

- ◆売上高は住宅市場向けの受注増加、高付加価値製品の拡販、新規連結会社による売上増加等により、堅調に推移した。
- ◆急激な円安進行や物価高騰の影響などにより、原材料・仕入価格は想定以上に高騰。販売価格の改定は進んだものの、1Qの浸透遅れを取り戻すまでには至らなかった。
- ◆販売管理費は新規連結会社による増加に加え、2022年6月よりテレビCMを放映開始したことにより増加した。

さらなる円安や物価高騰の進行が懸念されることから、原材料・仕入価格の高止まりが想定されるため、通期連結業績予想の修正を行いました。

SANEI



# 2023年3月期 第2四半期決算 (前期比較)

## 2 損益の概要

- ◆新規連結会社の増加や既存ルートの上上拡大などにより増収となった。
- ◆利益面では、販売価格改定の浸透は進んだが、原材料・仕入価格の高騰や一時的な広告宣伝費の増加などにより、営業利益・経常利益は大幅な減益となった。
- ◆岐阜工場の増改築に伴う特別損失の発生により、四半期純利益は△32百万円となった。

	2022年3月期		2023年3月期 (単位：百万円)			
	2Q累計	売上高比率	2Q累計	売上高比率	前年増減	前年増減率
売上高	11,058	100.0%	12,633	100.0%	+1,574	+14.2%
売上総利益	3,491	31.6%	3,536	28.0%	+45	+1.3%
営業利益	692	6.3%	103	0.8%	△588	△85.0%
経常利益	705	6.4%	89	0.7%	△615	△87.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	464	4.2%	△32	—	△496	—
1株当たり 四半期純利益	202円81銭		△13円99銭			
期中平均株式数	2,289,000株		2,288,973株			

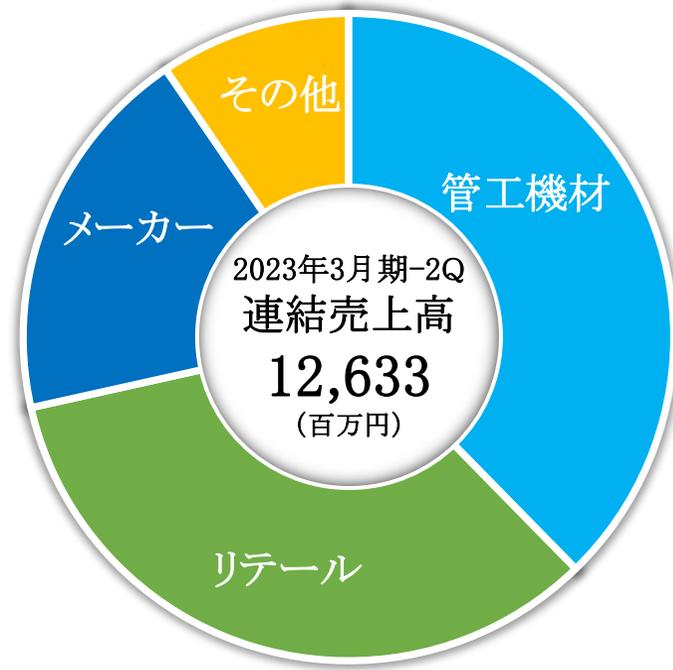
## 3

## 販売ルート別の業績

管工機材：現場物件、デザイン水栓シリーズの拡販、展示会など販促活動による売上は堅調に推移。

リテール：E C市場は引き続き売上が拡大。ウルトラファインバブル製品を中心に高機能製品の販売が好調。

メーカー：賃貸住宅市場の受注が回復。新規標準採用製品も売上増加に貢献。



		2022年 3月期	2023年 3月期-1Q	2023年 3月期-2Q
■ 管工機材 ルート	前年比	↑	↑	→
	構成比	↓	↓	↓
■ リテール ルート	前年比	↑	↑	↑
	構成比	→	↓	↓
■ メーカー ルート	前年比	↑	↑	↑
	構成比	↑	↓	→

※注) 当期から連結対象会社が増えたため、「その他」の売上が増加しました。そのため、各販売ルートの上構成比は横ばい、もしくは下がっています。

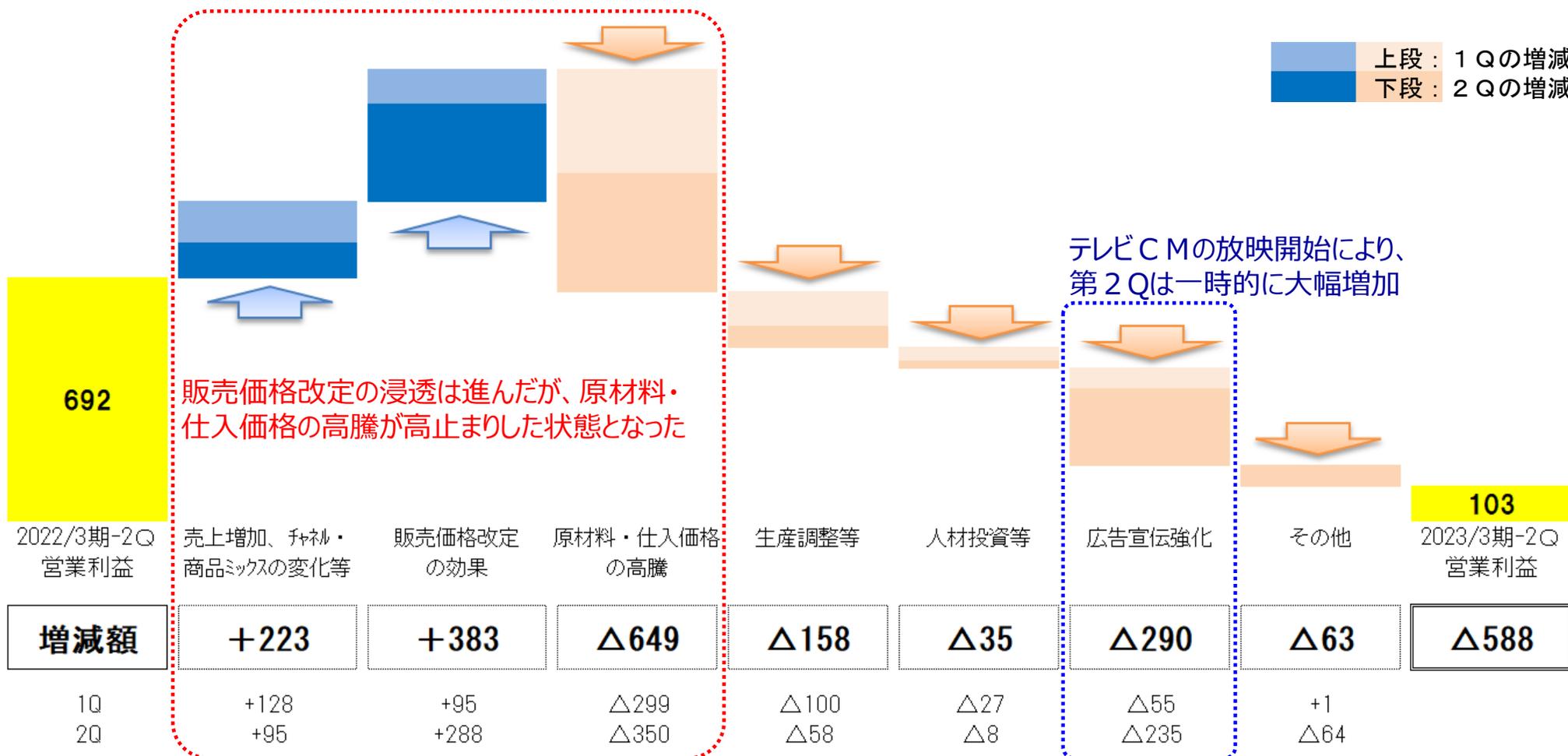
4

# 営業利益の増減要因

## 営業利益の増減要因(前年差異△588百万円の内訳)

(単位：百万円)

上段：1Qの増減  
下段：2Qの増減



# 損益の概要(まとめ)

(単位：百万円)

	2022年3月期	
	2Q累計	売上高比率
売上高	11,058	100.0%
売上総利益	3,491	31.6%
営業利益	692	6.3%
経常利益	705	6.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	464	4.2%

- ・住宅市場向けの受注増加
- ・デザイン水栓シリーズ、高機能製品など、高付加価値製品の拡販
- ・新規連結会社による売上増加

- ・販売価格の改定を実施（※浸透の遅れ）
- ・国内の材料価格（銅相場）の更なる高騰により原材料・仕入価格の増加

- ・新規連結会社による販売管理費増加
- ・テレビCM等、一時的に広告宣伝費が増加
- ・物価上昇に伴う燃料費・電力費などの増加

- ・岐阜工場の増改築に伴う特別損失を計上

2023年3月期			
2Q累計	売上高比率	前年増減	前年増減率
12,633	100.0%	+1,574	+14.2%
3,536	28.0%	+45	+1.3%
103	0.8%	△588	△85.0%
89	0.7%	△615	△87.3%
△32	—	△496	—

## 6

## 連結BS(資産・負債・純資産)

- ◆資産・負債・純資産ともに大きな変動はなかった。
- ◆棚卸資産と仕入債務の増加は、原材料・仕入価格の高騰が主要因。

(単位：百万円)

	2022年 3月期	2023年 3月期－2Q			
	金額	金額	前年 増減	前年 増減率	主要な増減
資産	22,467	22,497	+29	+0.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 棚卸資産の増加 + 3 2 3</li> <li>■ 売上債権の減少 △ 2 6 9</li> </ul>
負債	10,515	10,581	+66	+0.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 仕入債務の増加 + 4 2 4</li> <li>■ 借入金の減少 △ 1 1 5</li> <li>■ 未払法人税等の減少 △ 2 1 4</li> </ul>
純資産	11,952	11,915	△37	△0.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 配当の支払い △ 1 0 7</li> </ul>

## 7

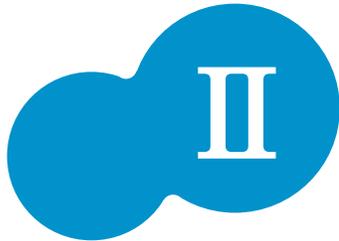
## 連結キャッシュフロー

- ◆当会計期間においては、現金等の大きな増減はなかった。
- ◆新規連結会社の増加により、前期と比較して期首残高が増えている。

(単位：百万円)

	2022年 3月期	2023年 3月期	
	2Q累計	2Q累計	主要な構成要因
期首残高	1,717	2,186	(参考) 新規連結に伴う現金等の増加額 +275
営業C F	405	475	税前四半期純利益 +9      減価償却費 +256 減損損失 +80      売上債権の減少額 +275 棚卸資産の増加額 △299      仕入債務の増加額 +418 法人税等の支払額 △236
投資C F	△271	△266	固定資産の取得による支出 △276 (前期 △143) (前期 新規連結会社の株式取得による支出 △120)
財務C F	△204	△224	借入金の減少額 △115      配当金の支払額 △107 いずれも前期より微増。
その他	45	10	
期末残高	1,692	2,181	

SANEI



## 2023年2Q業績予想と実績の差異・ 通期業績予想の修正

## 8

## 第2四半期業績予想と実績の差

- ◆売上高は堅調に推移し、業績予想通りの結果となった。
- ◆営業利益の業績予想未達は、原材料・仕入価格の想定以上の高騰と価格改定の浸透遅れが主要因。販売管理費は業績予想と大きな乖離なし。

(単位：百万円)

	前回業績予想 ※2022年5月9日公表	
	予想	売上高 比率
売上高	12,630	100.0%
営業利益	550	4.4%
経常利益	540	4.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	330	2.6%

<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高は堅調に推移 (計画値との乖離なし)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売価格改定の浸透遅れ</li> <li>・原材料・仕入価格が想定以上に高騰</li> <li>・販売管理費の増加(テレビCM費用等) は業績予想時点での想定範囲内</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜工場の増改築に伴う特別損失の計上</li> </ul>

2023年3月期 第2Q累計			
実績	売上高 比率	前年 増減	予想 増減率
12,633	100.0%	+3	+0.0%
103	0.8%	△446	△81.1%
89	0.7%	△450	△83.5%
△32	—	△362	—

## 9

## 通期業績予想の修正

- ◆売上高は、引き続き堅調に推移することが見込まれ、当初予想から変更はありません。
- ◆第3Q以降も、さらなる円安や物価高騰の進行が懸念されることから、原材料・仕入価格は高止まりすると想定。価格改定の浸透は進むも、材料費高騰の影響を吸収することは難しい。
- ◆販売管理費は、燃料費・電力費等の高騰が予想されるものの、当初予想から大きな変更はありません。

(単位：百万円)

	2022年3月期		2023年3月期										
	通期		2Q累計			3Q+4Q			通期				
	実績	売上高比率	当初予想	実績	増減	当初予想	修正予想	増減	当初予想	修正予想	予想増減	前年増減	前年増減率
売上高	22,999	100.0%	12,630	12,633	+3	13,370	13,366	△3	26,000	26,000	0	+3,000	+13.0%
営業利益	1,477	6.3%	550	103	△446	1,120	596	△523	1,670	700	△970	△777	△52.6%
経常利益	1,492	6.4%	540	89	△450	1,100	590	△509	1,640	680	△960	△812	△54.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	999	4.2%	330	△32	△362	720	432	△287	1,050	400	△650	△599	△60.0%

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)
	中間 円 銭	期末 円 銭	合計 円 銭		
2017年3月期	5.00	10.00	15.00		4.7%
2018年3月期	10.00	15.00	25.00		9.5%
2019年3月期	15.00	15.00	30.00		11.2%
2020年3月期	15.00	30.00	45.00	88百万円	14.0%
2021年3月期	30.00	45.00	75.00	161百万円	15.3%
2022年3月期	45.00	47.00	92.00	210百万円	21.1%
<b>2023年3月期 (予想)</b>	<b>48.00</b>	<b>48.00</b>	<b>96.00</b>	<b>219百万円</b>	<b>54.9%</b>

- ◆ 2020年1月2日付で株式1株につき10株の株式分割を行っております。当資料では2017年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。
- ◆ 2021年3月期 期末配当金の内訳は、普通配当 30円00銭・東証二部市場上場記念配当15円00銭となっております。
- ◆ 2022年3月期 期末配当金の内訳は、普通配当 45円00銭・株式上場1周年の記念配当2円00銭となっております。

**2023年3月期の中間配当は、直近の配当予想通り48円で実施します。  
通期の年間配当予想についても、年間96円の配当にて変更ありません。**

# 「ALWAYS WITH JOY」

# SANEI

本資料に関するお問合せやIRミーティングのご依頼

▽ 当社ホームページ <https://www.sanei.ltd/>

▽ メール [ir-sanei@sanei.ltd](mailto:ir-sanei@sanei.ltd)

▽ お電話 06-6972-5955

担当：SANEI株式会社IR課

SANEI株式会社

<https://www.sanei.ltd/>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。